

シラバス

2025 年度

ファインアート科絵画専攻2年

学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

ファインアート科/ビジュアルデザイン科/研究科

ファインアート科絵画専攻

シラバス

■ファインアート科絵画専攻2年 単位表

		成績項目	授業名	単位
前期	必修	素描Ⅱ 8u	ドローイング(絵画)	1
			イラストレーション A	2
			造形演習	1
			混合技法	2
			銅版画	2
	必修	素材研究Ⅱ 9u	絵画の空間	2
			絵画演習-コラージュから絵画へ-	2
			展示制作	2
			写真と美術	1
			物質と絵画	2
小計			17	

		成績項目	授業名	単位
後期	必修	技法演習Ⅱ 5u	抽象絵画考	3
			イラストレーション B	2
	必修	主題表現演習 6u	詩と表現	1
			絵画と物語	3
			取材と制作	2
		表現基礎演習Ⅱ	主題研究	7
学科	必修		絵画講座	1
小計			19	
合計			36	

ファインアート科絵画専攻2年

【前期時間割】

	1限	2限	3限	4限
月	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
火	造形演習	造形演習	実技カリキュラム	実技カリキュラム
水	実技カリキュラム	実技カリキュラム	—	—
木	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
金	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
土	実技カリキュラム	実技カリキュラム	—	—

【後期時間割】

	1限	2限	3限	4限
月	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
火	写真と美術(松蔭)	写真と美術(松蔭)	実技カリキュラム	実技カリキュラム
水	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
木	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
金	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
土	—	絵画講座	—	—

学科科目：後期学科授業名：「絵画講座」 担当教員：宮田徹也

授業期間：2025/10/04(土)– 2026/01/17(土)

授業時間：11：00–12：30

修得単位：1 単位

学習目標：芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかを確認しなければならない。それを、制作に繋げる。

授業内容：宮田徹也『芸術を愛し、求める人々へ』（論創社 | 2020 年 | ISBN978-4-8460-1895-5 C0070) の該当箇所（章を跨いだ通し番号）を予め読んで来てください。その上で考え、質問し、意見を交換する。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な筈だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。

実技科目：前期実技授業名：「ドローイング」 担当教員：室井公美子、山本晶

授業期間：2025 年 4 月 9 日(水)–4 月 16 日(水)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：1 単位

学習目標：制作を通じて多様な素材に触れ親しみながら、自身の制作の根幹となるものを発見してゆく。

授業内容：「ドローイング表現：新たな視点と思考を自由な素材表現で制作していく」というコンセプトをもとに、既成の技法や形式にとらわれず、自由な発想やアイデアを大切にします。手を動かしながら、自分の中に潜む新たな可能性を発見してゆきます。

実技科目：前期実技授業名：「造形演習」 担当教員：船井美佐

授業期間：2025年4月15日(火)–7月8日(火)

授業時間：9：20–12：30

修得単位：1単位

学習目標：アーティストとして制作していく上での基礎となる美術の知識を学ぶ。古今東西の絵画にまつわる様式や表現の歴史について知り、さまざまな絵画様式を体験する。これまでの絵画の遍歴や特質を知ることによって現代の自分の位置について考え、自分だけの新しい表現を生み出していくための力を培う。

授業内容：絵画について伝統的な様式から近現代までのあり方を時代順に比較しながら学ぶことで、現代のまだ見ぬ新しい絵画表現について考えるための基礎的な知識と技術を養う。毎回、美術史のレクチャーの後に、実際の画材や技法を体験し課題を制作する。

- 1、「絵の中」何をどう描くか？ものの捉え方や構図など、対象を2次元に表す方法の様々なことについて。
- 2、「絵の表面」何を使って描くか？絵具や絵肌、支持体など物質としての絵画のあり方の変化について。
- 3、「絵の外側」どのように展示するか？作品と人と空間の関係の多様性について。

最後にそれまで学んだことをもとに制作したドローイングを空間にインスタレーションとして構成して講評する。

実技科目：前期実技授業名：「イラストレーションA」 担当教員：今野樹里恵

授業期間：2025年4月17日(木)-4月26日(土)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：2単位

学習目標：テーマに基づくイラストレーション制作を修得します。一つの世界観で一連の作品を制作すること、自分の内面を表現するだけでなく外的要因（文学）に応じて制作をすることで、既存の表現に囚われずに新しい自分だけの表現を目指します。

授業内容：文学にまつわる挿絵を連作（サイズに応じて3～5カット）で制作する。装丁や挿絵などで既存イメージができていた文学を、自分だけの表現方法で再構成すること。更に連作で制作することによって世界観を確固たるものとして表現することを学ぶ。

実技科目：前期実技授業名：「混合技法」 担当教員：熊谷宗一

授業期間：2025年5月7日(水)-5月22日(木)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：2単位

学習目標：ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法である油彩とテンペラによる混合技法を習得することを目的とする。

授業内容：有色下地を施したキャンバスにエマルジョンテンペラと油彩の積層からなる描画により、視覚的リアリズムを追求する。

実技科目：前期実技授業名：「銅版画」 担当教員：馬場知子

授業期間：2025年5月23日(金)-6月3日(火)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：2単位

学習目標：銅版画の制作プロセスを修得し、作品を完成させます。銅版画には様々な技法がありますが、エッチングを中心に物質の変容と結びついた腐食技法の多様な表現に触れます。版を媒介することで生じる他者性を柔軟に取り入れながら自分の表現の世界を広げましょう。

授業内容：まずテストプレートで様々なマチエール表現を試しながら「道具、薬品の使い方」「描画」「製版」「刷り」の作業工程を理解し体得していきます。本作では自分のイメージの具現化に必要な表現や技法を選択し制作します。
(わからないことはなんでも聞いてください。安全に楽しく制作しましょう)

実技科目：前期実技授業名：「絵画の空間」 担当教員：山本晶

授業期間：2025年6月4日(水)-6月21日(土)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：2単位

学習目標：モチーフを描く時には必ずその周りの空間こそ描かないと絵は成立しません。遠近法の発見、カメラの誕生、美術館の登場など、その時代の作品と技術革新の関係を理解し、自分自身の絵画の空間を探ります。

授業内容：「絵に描いた餅」という言葉を聞いたことがありますか？ 描かれた餅は食べられません。持つこともできません。ただ、自分が絵の中に入ったら食べられます。熱い餅も気にせず持つことができます。
このように絵画には独特な空間があります。昔の作品から現在の作品まで、アーティストやクリエイターはどんな空間を作り出しているのか研究し、作品を作って実践します。

実技科目：前期実技授業名：「絵画演習-コラージュから絵画へ-」

担当教員：室井公美子

授業期間：2025年6月23日(月)-7月12日(土)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：2単位

学習目標：コラージュを絵画の出発点とすることで、構成力を養い、組み合わせによる視覚効果を理解します。また、コラージュの要素を模写することで、観察力と描写力を高め、絵画表現の幅を広げることを目指します。

授業内容：各自が興味を持つ写真や印刷物を用いてコラージュ制作を行う。完成したコラージュを基に、キャンバスにアクリル絵具や油絵具などで着彩し、色彩の調和や対比、画面における要素の疎密などを考慮しながら構成を深めていく。

実技科目：前期実技授業名：「展示制作」

担当教員：室井公美子、工藤礼二郎

授業期間：2025年9月1日(月)-9月9日(火)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：2単位

学習目標：これまでの学びを基盤とし、取材を通して新たな視点や発想を獲得し、独自の絵画空間を創造・探求することで、自身の世界観を深化・拡張することを目指します。

授業内容：創形祭での展示を目標とし、これまでの学習で得た知識や技術を活かし、自由なテーマで絵画作品を制作します。既成概念にとらわれず、新しい表現方法や多様な画材、技法を積極的に探求・実験し、独創性豊かな作品の完成を目指すことを求めます。

実技科目：前期実技授業名：「写真と美術」 担当教員：松蔭浩之

授業期間：2025年9月2日(火)-10月21日(火)

授業時間：9：20-12：30

修得単位：1単位

学習目標：写真の成り立ちから、構図や光の捉え方などを享受しつつ、「写真とはなにか？」を考察し、絵画制作に活用することを目標にする。

授業内容：歴代写真家の作品を紹介し、読み解きながらの座学と、デジタルカメラの扱い方を指導しつつ、ワークショップ形式で制作を重ねる。

実技科目：前期実技授業名：「物質と絵画」 担当教員：伊藤泰雅

授業期間：2025年9月16日(火)-10月7日(火)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：2単位

学習目標：主題を明確化し、素材と手法の選択の過程で、作家としての自覚とこだわりを喚起する。物質性、絵画性の両面から制作を見直し、完成度の高い作品を1点（F20号）制作する。

授業内容：これまでの制作から主題・モチーフを決める。画用紙以外の支持体にドローイング・コラージュなどでエスキースを重ねる。その際に選んだ支持体の物質からキャンヴァスに下地を施す。物としての強度について意識しながら作品を制作する。

実技科目：後期実技授業名：「抽象絵画考」 担当教員：徳永陶子、工藤礼二郎

授業期間：2025年10月9日(木)-10月24日(金)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：3単位

学習目標：抽象絵画が難解で分かりづらい芸術であるという呪縛から解き放ち、表現手段の一選択肢として考慮できるようにする。

授業内容：20世紀初頭に誕生した抽象絵画という概念や形式はどのようなものなのか。またそれらは21世紀の現在においてどのように引き継がれるであろうか。概念的な思考の前にまずは抽象の様々なあり様を描くことを通して体験し、自らの表現として獲得しうるかを試みる。

実技科目：後期実技授業名：「イラストレーションB」 担当教員：須田浩介

授業期間：2025年10月27日(月)-11月6日(木)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：2単位

学習目標：イラストレーターがクライアントワークで行うアイデア出しラフの提出などのプロセスを活かし制作に取り組みアーティストとしてもイラストレーターとしても必要なコンセプトと作品表現とを繋げる力を伸ばす。アナログ画材を使用し与えられた枠組みの中で作品を制作する上で個々の持つ個性や表現を活かしながらより魅力的な作品表現となる様に作品を描く上でのコンセプトと「何故」をよく考えながら表現に繋げ自分の表現や世界観をブランディングしていく為の授業です。

授業内容：4枚の作品を描く。描くテーマは各自で決めて良いです。自分なりに表現のフォーマットを考えてから描く。描くもののテーマ、コンセプト、発表する際のブランディングを意識する。テーマ例、四季、トランプ、方角、喜怒哀楽、etc
分かりやすいので4にまつわるものを例に出しましたが別にそこはそんなに意識しなくても良いです。自分の好きな物事などに絡めて自分の表現の枠で4枚描く。

実技科目：後期実技授業名：「詩と表現」 担当教員：田野倉康一

授業期間：2025年11月5日(水)-2026年2月18日(水)

授業時間：11：00-12：30

修得単位：1単位

学習目標：今回は実技を中心に考えています。やってみるとわかりますが、詩は美術に近い。日常言語の呪縛を破って、言葉でも自分の世界を作って未知の領域に足を踏み入れてみましょう。

授業内容：受講者がそれぞれに詩に触れ、受容し、詩作することを通して、他人の言葉に左右されることなく、ファインアートやデザインの実践の中で言葉とうまく付き合っていけるようになること。

実技科目：後期実技授業名：「絵画と物語」 担当教員：山口藍

授業期間：2025年11月7日(金)-12月3日(水)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：3単位

学習目標：支持体と描画の関係性

平面絵画において、特に支持体が作品の内容にもたらす影響を改めて考え、実際の制作を通して描画との相互の関係性を探る。

授業内容：描こうとする題材（テーマ）を任意の物語や散文などの一場面に設定し、それを絵画作品として表現するために最も適した支持体を選び（あるいは作り）制作する。作品を構成するあらゆる要素に意味を持たせたり、それを伝えたりできると意識することで、作品制作において色々な角度から思考し掘り下げていくことにつなげていく。

※キャンバス以外にも、あらゆる物に支持体の可能性を探ってみること。

実技科目：後期実技授業名：「取材と制作」 担当教員：室井公美子

授業期間：2025年12月4日(木)-12月13日(土)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：2単位

学習目標：収集した多様な要素と、取材を通して得られた洞察に基づき、作品の核となる独自のコンセプトを明確に確立して行きます。また、その過程で制作ノートを効果的に活用し、思考を深化させながら作品の方向性を具体的に構想することを目的とします。

授業内容：作品制作に向け、各自が関心を持つ事柄やテーマに関連する写真、スケッチ、メモなどの要素を収集し、アイデアやイメージを記録した制作ノートを作成します。並行して、作品のコンセプトを具体化・深化させるため、美術館鑑賞、観察、資料調査、インタビューなどの取材活動を行い、そこで得られた情報や考察を制作ノートに記録することで、作品の核となるコンセプトを明確にしてゆきます。

実技科目：後期実技授業名：「主題研究」

担当教員：山口藍、山本晶、室井公美子、工藤礼二郎

授業期間：2026年1月7日(水)-2月27日(金)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：7単位

学習目標：2年次の授業を総合的に判断し、また新たなアートシーンにも触れながら3年次へ向けた自らの主題を探る。

授業内容：作家研究（表現方法・素材）を通して30号の制作に取り組む。同時にモノトーンでの細密な描写に取り組み、色調（グラデーション）について一層理解を深め、2年間の観察／表現の成果を実感する。

学校法人高澤学園
創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2
TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982
URL <https://www.sokei.ac.jp/>
E-mail: sokei@sokei.ac.jp